



MORIYAMA NEWS

社会医療法人社団 森山医会
森山記念病院

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 7-12-7
TEL 03-5679-1211 FAX 03-5679-1212

森山リハビリテーション病院

〒134-8608 東京都江戸川区西葛西 6-15-24
TEL 03-3675-1211 FAX 03-3675-1631

森山ケアセンター

〒134-0013 東京都江戸川区江戸川 5-4-23
TEL 03-3689-1211 FAX 03-3689-1299

ホームページ <http://moriyamaikai.or.jp/>

平成26年 春号

特集

当院での「脳血管内治療」の現状について



脳血管内治療科 朝来野佳三

当院では、2011年より脳血管内治療科を設け、脳神経外科とともに脳卒中、脳腫瘍などの脳疾患に対して血管内治療を積極的に行っています。「脳血管内治療」は、近年急速に広がっており、脳疾患の治療の中で重要な部分を占めています。特に、脳卒中では緊急の脳血管内治療ができなければ、脳疾患を扱う医療機関として十分な治療はできないと考えられています。これまでは、脳動脈瘤の治療において開頭術と血管内治療を比較するものが多かったのですが、近年、開頭術と同等以上という報告が多いのが現状です。当院は、都内でも数多くの治療を行っている施設ですが、特にステントを用いた特殊な動脈瘤治療では、全国でもトップ5に入る程の症例を治療しています。また最近では、脳卒中の約80%を占める脳梗塞の超急性期治療において血管内治療が積極的に行われるようになってきました。様々なデバイスが導入され、今までt-PAなどの内科的治療でも改善しなかった症例も緊急の血管内治療により良好な経過が得られるようになってきました。また、慢性脳動脈狭窄症に対しても当院では積極的な治療を行っており、脳虚血に対する血管内治療は、全国でも有数の症例を治療し良好な結果を得ています。特殊な治療も行い各地から患者さんが来られています。そのため、当院は、新しい脳血管内治療用デバイスが承認されると他施設が使用する前に市販後調査を行う施設に指定されています。「脳血管内治療」は脳卒中のみならず、脳血管奇形や脳腫瘍の栄養動脈の塞栓にも用いられます。これにより脳外科治療を安全に行えるようになります。当院では、毎日、脳神経外科とカンファレンスを行い、1つ1つの症例に対してどのようにアプローチするのかを検討しています。また、くも膜下出血、超急性期の脳梗塞に対しても救急搬入と同時に、脳神経外科と脳血管内治療科で検討し、即座に最善の治療を選択し直ちに治療を行います。特に超急性期の脳梗塞は時間が限られているため、24時間体制でいつでも脳血管撮影と治療ができる体制を整えています。特殊なデバイスであっても常時院内にストックしているため、特殊な動脈瘤治療や血栓除去治療などを即座に開始できる全国的にも数少ない施設となっています。今後も、脳疾患に対する脳血管内治療は増え続けていくと考えられます。我々も引き続き努力を続け、患者さんの治療に邁進していきたいと考えております。

森山記念病院 救急医療現況報告



脳神経外科 白水秀樹

院内体制

森山病院の開院以来、地元の救急医療を24時間体制で担うことが医会の使命と位置付け、森山記念病院の位置する江戸川区西葛西地区を中心に、東京東部地区、千葉県江戸川沿岸地域まで、脳神経外科、内科、一般外科、整形外科のほぼ全般で、主に1次2次、時には3次の救急医療を24時間体制で担ってきました。そして、昨年6月に、新たに救急医療の分野で社会医療法人社団森山医会として、新たな体制で救急医療体制を更に充実させております。

現在、森山医会の救急部門は、森山記念病院が担っています。人的には、常勤医に脳神経外科8名、一般外科4名、内科3名、整形外科3名が各種専門医をもった医師が在籍しており、夜間当直は、外科系1名、内科系1名（東京ルール当番の日は、医師1名増員）と万全の体制で対応しています。当院は、脳神経外科、外科、内科のドクター間の風通しが良く、院内PHSで迅速に連絡をとり合う診療協力体制を敷き、看護スタッフ、リハビリテーションスタッフはじめソーシャルワーカーの各コメディカルとも救急の超急性期から患者さんに関わることで全人的な医療を行うように心がけています。ハード面では、質の良い医療を提供できるように、各検査科のコメディカルとも協力し合い24時間いつでも一般採血検査、レントゲン、CT検査をはじめMRI検査、カテーテルによる血管造影検査まで行える体制を整えています。

各科の救急体制

脳神経外科）脳神経外科8名が、iphoneによる画像転送システムにより夜間休日でも各人が救急疾患の画像データをリアルタイムで共有することができ、各専門の意見を取り入れながら治療する体制でいます。そして専門性を生かし、くも膜下出血、脳出血、脳梗塞と脳卒中全般にわたり、病態に応じて、顕微鏡下の開頭手術、カテーテルによる血管内緊急手術、脳出血に対し内視鏡下の低侵襲手術など高度で先進の専門領域の手術で対応することが出来ます。超急性期脳梗塞に対しては、t-PA静注療法はもちろんですが、さらに血管内手術による再開通療法も行っています。また、てんかん重積、頭部外傷、脳腫瘍などの脳神経外科全般の救急疾患にも対応しています。脳卒中の場合、入院後は脳卒中ケアユニット（6床）で集中管理を行っています。今後は脳卒中センターを立ち上げ、更に地域の脳卒中医療を充実させる予定でいます。

一般外科）3名の一般、消化器外科専門医が、消化管出血、消化管穿孔、腸閉塞、虫垂炎、鼠径ヘルニアはじめ気胸などの緊急外科疾患に対しては緊急内視鏡、緊急開腹術と迅速に対応しています。

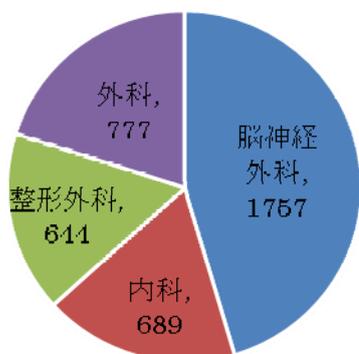
内科）内科疾患全般の救急受診に対応しています。循環器疾患及び内分泌代謝疾患に関わる急性心不全およびケトアシドーシスにも対処可能な体制です。また緊急透析が必要な場合も対応しています。

整形外科）3名の整形外科専門医が、救急搬送された四肢外傷などの疾患に対する診察や加療（創傷処置、徒手整復処置、観血的手術など）はもちろんのこと、他の医療機関からの紹介または直接来院により受診された患者さんへの対応も随時行っています。

現在の救急医療への取り組み

昨今、救急車受け入れ困難が社会問題となっています。過去のデータを検証したところ当院でも同様の事例が多少なりとも発生しているため、平成23年度より、各部署から構成した救急委員会を発足させました。月1回、救急委員会を開催して、月ごとに救急車の受け入れ状況、断わり状況、断った場合の状況、適正な医療が行われているかなど項目別に詳細に検討して、それぞれの問題点を明確にして現場にフィードバックすることで、更により良い救急医療を提供できるように心がけています。現在の救急医療における私たちの目標は、地域の各クリニックの先生方との連携を更に深化させていき、クリニックで緊急患者さんが発生した場合、電話一本で迅速に当院へ搬送できるようなシステム作ることです。そして、更により良い救急医療を提供することで、森山医会一丸となり地域の皆様に貢献できるようにしたいと考えております。

平成25年度の救急車受け入れ実績



搬送受け入れ総数	3867 台
脳神経外科	1757 台
内科	688 台
一般外科	777 台
整形外科	644 台

iPhone による画像転送システム画像



リハビリテーション最新器具の導入

～更なる効果を求めて～

MURO ソリューション

MURO ソリューションのMURUは「ミューロ」と読み、Muscular Atrophy（筋萎縮の改善）という意味の英語からの造語から名付けられました。脳卒中により動きにくくなった手指の運動を、アシストしてくれる最新鋭の装置に
なります。いままでの脳卒
中の治療において、改善しにくいといわれている上肢の治療を最大8時間、装着したままで日常生活を送ることのできる装置になります。すでに症状が固定化した患者さんの治療として、効果実績の報告があり



ます。この度、回復期リハを提供する当院でも、導入することで、いずれも改善の報告があります。現在でも「脳卒中片麻痺上肢の新たな治療」として主要都市で講習会が開かれ、当院からの症例報告を予定しています。当院のリハビリテーションの幅を広げる装置として、当院で実施するリハビリテーションと併用することで更なる機能改善を図るための手段の一つとして期待されます。慢性期の使用例ですが、MURO ソリューションで得られた効果が、一生持続されると報告されています。

長下肢装具

現在、当院回復期では、重度の麻痺・感覚障害や高次脳機能障害を有する重症患者さんの増加に伴い離床の促進や立位・歩行訓練の際に介助量が多い患者さんが増えてきているといった現状があり重度麻痺を呈した患者さんに対して離床の促進や立位・歩行訓練の機会をより多く作るという目的で、経済的負担を考え患者さん専用の物を作成するのではなく、当院の病院物品として2種類の長下肢装具の導入を決めました。

1つは、立位訓練にて麻痺側下肢で支持する経験を増やし麻痺側下肢の筋活動向上や非麻痺側での過剰努力を抑制する目的として、通常の長下肢装具を選びました。

もう1つは、立位だけでなく歩行の獲得にも視野を入れた足関節のコントロールを油圧で調節する油圧式底屈制動機構付き（ゲイトソリューション）長下肢装具です。

この2種類の長下肢装具を早期に使用することによって、大幅な歩行能力の向上が得られており、紹介先・患者さんや御家族より高い評価を得ています。また、理学療法士協会の学術大会で成果を発表する予定です。今後も患者さんが最大限の力を発揮できるよう、取り組んでいきたいと思っています。



社会医療法人社団 森山医会

森山記念病院

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 7-12-7

TEL 03-5679-1211

FAX 03-5679-1212

森山リハビリテーション病院

〒134-8608 東京都江戸川区西葛西 6-15-24

TEL 03-3675-1211

FAX 03-3675-1631

森山ケアセンター

〒134-0013 東京都江戸川区江戸川 5-4-23

TEL 03-3689-1211

FAX 03-3689-1299

ホームページ <http://moriyamaikai.or.jp/>

